

全国安全週間に龍ヶ崎労働基準監督署長が建設工事現場の安全パトロールを実施！

令和4年7月5日



小松所長から説明を受ける大畠署長(左2番目)

龍ヶ崎労働基準監督署(署長 大畠成明)は7月5日、全国安全週間に合わせ東亜建設工業(株)が施工する圏央道牛久高架橋下部工工事の安全パトロールを実施しました。

龍ヶ崎署管内における令和3年の労働災害による死傷者数(休業4日以上)は、前年に比べ60件増加の474件、うち死亡者数は前年0人から3人(内1件が建設業)に増加しており、死亡者数、死傷者数ともに前年より増加しています。本年は建設業における労働災害は減少傾向にあるものの、墜落・転落災害による重篤な災害が起こりやすい業種であることから、建設現場の安全パトロールを実施しました。

パトロール当日は橋脚の基礎ぐい工、構造物掘削工、橋梁下部工の安全な作業方法を確認し、手すり先行工法による墜落・転落災害の防止対策やレーザーバリアの設置による重機やつり荷の接触防止対策、緊急時の対処を含めた熱中症対策の実施状況について確認を行いました。

また、7月1日から7月7日まで全国安全週間の期間中であることから、全国安全週間の趣旨に沿った安全活動の推進についても注意喚起しました。

【連絡先】龍ヶ崎労働基準監督署

電話:0297-62-3331